

国際

IS製造か 覚醒剤1200億円相当を押収 イタリア

2020年7月2日 7時04分



イタリアの警察は、南部ナポリ近郊の港で、過激派組織 I S = イスラミックステートが製造したとみられる覚醒剤およそ14トン、末端価格で少なくとも1200億円相当を押収したと発表しました。



イタリアの警察は1日、ナポリ近郊の港で3隻のコンテナ船から紙製の円筒形の容器に隠された、合わせておよそ14トン、末端価格で少なくとも10億ユ

一口、日本円で1200億円余りに相当する覚醒剤「アンフェタミン」を押収したと発表しました。

「アンフェタミン」の押収量としては、世界でも過去最大だとしています。

発表によりますと、押収した覚醒剤は錠剤の形で、過激派組織 I S が製造にかかわったことを示す記号が記されているということです。

覚醒剤は、恐怖や痛みを抑えるためにテロリストに広く使われることから「ジハード＝聖戦ドラッグ」とも呼ばれ、I S はテロの資金源にするため、中東のシリアで大量に製造し、ここ数年で、世界でも最大の製造拠点になっているということです。

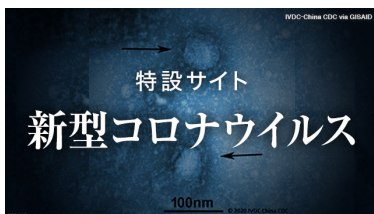
警察は、新型コロナウイルスの影響でヨーロッパでの薬物の製造や流通が事実上、停止したことを受けて、複数の犯罪組織が共謀してシリアから密輸しようとしたとみて捜査しています。



シェアする



特集



新型コロナウイルス関連 特設サイト・特集 リンク
一覧 2020年7月2日